

第2回 横浜市都筑スポーツセンター指定管理者選定委員会会議録	
日 時	令和3年8月16日(月) 9時30分～12時00分
開催場所	都筑区役所3階 研修室
出席者	石黒委員長(亜細亜大学経営学部ホスピタリティ・マネジメント学科准教授) 志田委員(都筑区青少年指導員連絡協議会会長) 森委員(都筑区スポーツ推進委員連絡協議会会長) 横手委員(都筑区連合町内会自治会地域活性部会)
欠席者	秋山委員(税理士)
開催形態	一部非公開(傍聴者4人)
議題	1 会議の公開・非公開について 2 応募資格等の確認について 3 選定方法の確認について 4 面接審査 5 採点審査(指定候補者の選定)
決定事項	1 応募資格等の確認及び選定方法の確認、並びに応募団体の面接審査におけるプレゼンテーション及び質疑応答部分は公開とし、指定候補者の選定に係る採点審査は非公開とした。 2 公益財団法人横浜市スポーツ協会を指定候補者に決定した。 3 委員会の選定結果について、都筑区長に報告することとした。
審議内容	1 会議の公開・非公開について 応募資格等の確認、選定方法の確認、及び応募団体の面接審査におけるプレゼンテーション及び質疑応答部分は公開とし、指定候補者の選定に係る採点審査は非公開とした。 2 応募資格等の確認について 事務局より応募のあった1団体が当公募の欠格事項に該当しないことを報告した。 3 選定方法の確認について 事務局より採点方法、最低制限基準点及び選定方法についての説明を行った。 4 応募団体の面接審査 【公益財団法人横浜市スポーツ協会】 公益財団法人横浜市スポーツ協会によるプレゼンテーションが行われ、以下のような質疑応答があった。 (委員) 新型コロナウイルス感染症対策として、館内の利用者に対し、マスク着用等と呼び掛けているのか。

(回答) 運動中のマスク着用は、熱中症等の危険性もあるため、必須とはしていないが、可能な限り協力をお願いしている。また、館内移動の際には、マスクの着用をお願いしている。

(委員) 施設のホームページにおいて、多言語対応や「やさしい日本語」による表記があるとより良いと感じるが、今後そのような予定はあるか。

(回答) 高齢者や社会的弱者の方にとっても見やすいホームページとなるよう、今後リニューアルを考えている。

(委員) 利用者が減少傾向にある中で、今後どのように増収していくと分析しているか。

(回答) 増収のために、教室事業をより多くの利用者が参加しやすいものに改修することやトレーニング室の器具を改修すること、及び利用者へ積極的な PR を行うこと等を考えている。

また、施設へ来館できる利用者は限られているため、派遣指導や出張教室等を企画し、区内全域をカバーすることで増収できると考える。

(委員) 職員研修の内容が5年間変わっていないが、今後どのような部分に重点を置いた研修を実施する予定か。

(回答) SDG s などの新しい考えのほか、情報漏えい事故があれば個人情報保護に重きを置くなど、その時その時に応じた研修の実施を考えている。

(委員) 施設の常勤職員5名のうち、女性職員は何人か。また、法人役員20名に占める女性の割合が低いが、今後女性役員の割合を増やす予定はあるか。

(回答) 現在施設に配置している常勤職員5名のうち、女性職員は2名。
法人における女性役員の割合が低いことは、組織の課題として認識している。部長職に就く女性職員も現状いないが、今後増える見込みである。

(委員) 修繕費について、毎年500万円の予算を計上しているが、今後の具体的な修繕計画や見通し等は立てているか。

(回答) 修繕計画は立てているが、施設の老朽化に伴う突発的な修繕対応が発生した際には、そちらを優先して実施している。年度によって多少金額が異なる

ものの、5年間で2500万円の修繕を計画的に執行できればと考えている。

(委員) 利用者アンケートについて、満足いただけなかった利用者の意見を把握しているか。また、指定管理者として選定された際に、こうした意見をどのように反映させていくのか。

(回答) 少数ではあるが、アンケートの中で厳しい御意見を頂くこともある。スタッフの対応等、早急に改善できる部分については情報共有を図り、利用者へ気持ちよく使っていただけるよう改善していく。

(委員) 立地面に課題があるため、派遣事業はぜひ積極的に取り組んでいただきたい。また、地域との関係もより強化していただくのが望ましいと考える。

(回答) 新型コロナウイルス感染症が感染拡大する以前は、地域ケアプラザや地区センターと協力のうえ、出張事業を実施した。また、小学校や保育園へも派遣を行っている。

立地に課題はあるが、それでもなお来館したいと思っていただけるような施設となるようPRしていきたい。

(委員) 提案書の中で、延べ利用者数が少しずつ増加する目標を設定しているが、どのような根拠でこの人数を設定したのか。

また、延べ利用者数だけでなく、実利用者数についてはどのような展望を持っているか。

(回答) 延べ利用者数については、駐車場の駐車可能台数に限りがあることなどを要因として、あまり大きな目標を立てられないのが実情だが、微増すると考えている。

また、定員に満たない教室事業の参加人数を増やしていくことで、施設全体の実利用者数も増やしていきたいと考える。

(委員) SNSによる情報発信について、現状混雑状況の発信のみにとどまっているように見えるが、今後の計画はあるか。

(回答) 新型コロナウイルス感染症が感染拡大する以前は、オリンピックパラリンピック及びラグビーワールドカップのカウントダウン等も発信していた。

現在、市内で一部のスポーツセンターが休館していることも影響し、混雑が目立っているため、混雑状況の発信を中心に行っている。今後は、施設で行っている取組みなども発信していきたい。

(委員) 提案書において、「after コロナ」におけるイベント実施の記載があるが、これは「before コロナ」と同程度を想定しているのか。

(回答) 基本的にそのように考えている。体育室の利用人数等については、横浜市のガイドラインに沿って設定しているため、ガイドラインの内容が緩和した際には、より大きなイベントも開催していきたいと考える。

(委員) リモートをはじめ、「with コロナ」の中で培われたノウハウを活用することも検討していただきたい。立地面に難しい部分もあるが、新たな利用者を取り込むことにも繋がると考えられる。

(回答) 他区のスポーツセンターが休館していることにより御来館いただいた新規の利用者にも、継続して使っていただけるような施設を目指したい。

(委員) 提案書の事業内容について、抽象的な表現が多く、具体的な取組が見えづらい。

また、地域住民との意見交換も行っているようだが、前期に具体的に何を実施したのか分からない。

(回答) 第4期の具体的な取組の一つとして、横浜市スポーツ医科学センターと連携した「ヘルスプロモーション事業」の実施を考えている。

(委員) 提案書において、第3期指定管理提案事項の達成状況の記載があるが、このうち未達成だったものは具体的に何か。

(回答) 未達成事項として、利用者カードの導入や障がい者サッカーイベントの実施などがある。

(委員) 平成30年度以降、教室事業収入はいずれも目標を達成していないが、令和4年度計画における教室事業収入はどのような根拠をもとに設定しているか。

また、施設利用の増加具体策として、具体的に何を実施するのか。

(回答) 教室事業の周知・PRを積極的に行っていくとともに、利用者にとってより興味・関心の高い内容へリニューアルすることで、目標を達成していきたいと考える。

(委員) 都筑スポーツセンターとして具体的にはどのような定員配置、ローテーション、常駐管理者、救急医療対応、事故対応を行っていくのか。防災拠点や防犯拠点としての役割ははたせるのか。

(回答) 施設の職員は、常勤職員 5 名のほか、受付のアルバイトスタッフ及びトレーニング室での指導・誘導等を担当するスタッフにより構成している。
常勤職員は 1 日 2 交代制、アルバイトスタッフは 1 日 3 交代制。受付スタッフは常時 2 名以上、トレーニング室のスタッフは常時 1 名の配置を予定している。

(委員) 収支予算書における人件費の割合が今後 5 年間変わっていないが、最低賃金の上昇やベースアップは見込んでいないのか。

(回答) ベースアップ部分については、今後横浜市の賃金水準スライド制度により、指定管理料が上乘せされることになるため、収支予算書における人件費の項目は同額を計上している。

(委員) アクセス面を理由に施設に来館しづらい利用者に対し、例えば施設の巡回バスを配備するなど、出張や派遣以外で検討している取組はあるか。

(回答) 巡回バスはこれまでも検討した経緯があるが、採算性が合わず、提案内容に盛り込むことはできなかった。

5 採点審査

面接審査を受けて評価を行い、各委員の評価結果を集計した。

応募団体の評点は次のとおりであり、最低制限基準点の 257 点を超えていることを確認した。

団体名	評点/満点
公益財団法人横浜市スポーツ協会	378 点/468 点

(審査講評)

- ・当団体は地域への理解が高く、施設についても熟知しているうえ、これまでの管理運営の実績については利用者によく評価されており、安定した運営ができると考える。一方で、利用者増のための取組事項など、提案における具体性や根拠に不十分な部分があった。
- ・団体の母体が大きいこともあり、バックアップ体制が整備されている印象である。
- ・財務については、役員（監事）に大手税理士法人代表役員をおいているうえ、公認会計士の外部監査を受けていることなどから、厳格な会計監査が行われている

	<p>と思われる。また、減収したものの正味財産は増加しており、税金の未納もなく、財務状況に特段の問題は見られない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修内容が5年間変わっていないため、新しい視点や項目を取り込んでいくことが望ましい。 ・立地面の難しさについては、よく理解していると思われる。派遣事業の充実や他の施設との連携強化、オンラインの活用等、立地を意識した集客を今後期待したい。 ・近年子どもの体力低下が課題となっているため、それらを解消していくような事業の実施も期待したい。 <p>公益財団法人横浜市スポーツ協会を指定候補者とすることで決定した。 また、選定結果については、都筑区長に報告することとした。</p>
資 料	<p>(資料1) 第2回選定委員会タイムスケジュール (資料2) 評価・採点方法について (資料3) 採点表 (資料4) 採点審査について</p>